

慶良間諸島国立公園 ステップアッププログラム 2025

取組推進のためのワークショップ 環境省主催

ニュースレター
Vol.9

ステップアッププログラムとは？

- ★日本の国立公園を、世界水準のナショナルパークとしてブランド力を高める
- ★地域の皆様と協働して、自然環境の保護と利用が良いバランスで循環する形を目指すための国立公園の行動計画です！



慶良間諸島では…

- ★コンセプトを「美ら海慶良間一リトリート・海と島がつくるケラマブルーの世界一」として、美しい景観の中でゆったりと過ごしたり、自然体験等を行い、満足度の高い国立公園を目指しています。
- ★地域に係わるすべての方々と共に取組を行っています。
- ★現在はステップアッププログラム2025（2021～2025年）をもとに取組を進めており、今後は、**2030年を目標にしたプログラム**を策定する予定です！

ワークショップの目的は？

- ★地域の皆様が主体的に進めている取組をより良く進めることを目的に、地元の関係団体が参加するワークショップを開催しています。
- ★取組の課題や解決のためのアイデアを話し合っています。

開催概要

座間味村会場

日時 2025年11月26日(水)
13:00～15:00
場所 さんごゆんたく館
参加者 地域関係者 10名

渡嘉敷村会場

日時 2025年11月28日(金)
15:15～17:15
場所 渡嘉敷村役場2階会議室
参加者 地域関係者 3名

座間味村プログラム 1. ステップアッププログラムの取組状況報告
2. 国立公園ブランドプロミスについて

詳しくはこちら

ステップアッププログラム 2025



これまでのニュースレター



座間味村HP



渡嘉敷村HP



渡嘉敷村プログラム 1. ステップアッププログラムの取組状況報告
2. ブランドプロミスに対するワークショップ形式での意見交換

ブランドプロミスについて

国立公園のブランドプロミスとブランディング活動

環境省では、これまでの取組実績に基づき、国立公園のブランディングをさらに強化するため、国立公園の4つのブランドプロミスと、その実現に向けて環境省と地域・関係者が一緒に取り組む9つのブランディング活動を定めています。

詳しく内容はQRコードをご参照ください▶



ブランドメッセージ

その自然には、**物語**がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない**唯一無二の感動や体験**ができる。

ブランドプロミス

国立公園が来訪者・地域に約束すること

感動的な自然風景



サステナビリティへの共感



自然と人々の物語を知るアクティビティ



感動体験を支える施設とサービス



ブランディング活動

ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省が地域・関係者と一緒に取り組むこと

- ①自然・生活・文化・歴史を把握し、**物語(ストーリー)**を明らかにし、保護と利用の方針を定め、行動計画を作成します。
- ②地域の**コーディネーター**として、**地域の多様な主体と一体**となって公園管理や魅力の発信に取り組めます。

③自然の風景や野生生物、生態系を**保護・再生**します

※二次的自然の維持管理も含む

④利用のルール、限定体験、利用者負担等に取り組み、**公正な利用とその対価が保護に再投資される仕組み**をつくります。

⑤**脱炭素化**や地産地消などに取り組み、**持続可能な地域づくり**に貢献します。

⑥**物語(ストーリー)に沿った魅力的な自然体験コンテンツと体験コース**をつくります。

※物語(ストーリー)とは、自然・暮らし・文化など地域の資源をつなぎ、その風景地の成り立ちや価値を伝えるもの

⑦**集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上**を図ります。

⑧**魅力的な利用施設の整備・管理**を進めます。

⑨**統一したメッセージ、デザインを活用し、国立公園に関する情報を広く発信し、理解拡大**に努めます。

※ブランドプロミスとは「国立公園の管理運営に関わる関係者が共通の理解を持つための「すべての国立公園共通の管理運営指針」です。

ワークショップ

@座間味村会場

座間味村では今年度行われている取組や課題、さらにこれからの取組や取組の進め方について協議しました。また、ブランドプロミスの紹介や座間味村の魅力について意見交換しました。

ステップアッププログラム 2025 の主な取組

情報発信強化/デジタル化

- 多言語化
- Web予約システム
- キャッシュレス化 など

コンテンツの磨き上げ、体験メニューの多様化

- アクティビティの充実
- 冬季・夜間コンテンツの開発
- プログラムづくり など

受入環境整備

- 施設の整備・再整備
- Wi-fi、ユニバーサル化
- 景観改善 など

持続可能な利用の実現

- 保全・利用ルール
- 美化清掃
- 利用の分散化 など

受入体制の充実

- 自然観察会、人材研修
- 青のゆくる館管理運営
- 移動手段、宿泊サービス など

その他

- お土産、特産品の開発 など

ステップアッププログラム2025でかけた目標の取組状況

① 受入体制の充実

観光客が少ない冬季に、集客数UP	・観光客に喜ばれ、座間味でできるワークショップを調査・検討
外国人など観光客が困らないよう飲食店やショップなどの情報提供	・村内の店舗などの案内を各所に置くとともに、SNSをフォロー ・SNSでの発信を進める、情報発信の場を拡大
お客様サービスの向上	・外国語パンフレットや外国人用サイズの器材(ダイビングなど)を準備 ・船舶欠航した場合のチャーター船の手配を実施 ・地元の人も利用できる軽食を提供する店を展開 ・無人島へのAED、ストレッチャーなどの設置
ホエールウォッチングの人材育成	・アルバイトを含め人材育成のため、今後もPRや環境整備を展開

※ 今後の課題 | SNSの適切な更新、人材の確保、外国語対応など

② コンテンツ磨き上げ、体験メニューの多様化

宿泊客の増加	・星空保護区への加入を目指した調査を予定 ・沖縄本島でのプロモーションも含め情報発信を実施
お客様サービスの向上	・座間味島まつり、ファン感などを活用して集客 ・ベジタリアンやビーガン向けの食事の提供を検討
ホエールウォッチングのブランド化	・外国語パンフレットの作成 ・環境省が作成したブランドブックやショートムービーを使った「慶良間のクジラに優しいウォッチング」PR



座間味ワークショップの様子



※ 今後の課題 | 星空保護区認定の手順を把握、探検員やPRスタッフなどの確保

③ 持続可能な利用の実現

ザトウクジラの保全	・両村のホエールウォッチング協会の同盟協定を締結 ・ホエールスイム禁止を呼びかけ、親子クジラを保全 ・エコツーリズム全体構想の見直し
海のルール整備	・ブイの活用など海のルールを周知 ・団体に属さない事業者や地域外から訪れる船へのルールの周知

※ 今後の課題 | 海のルールの周知方法、モリの利用の規制や漁業などとの共存

ワークショップ

@渡嘉敷村会場

渡嘉敷村では今年度行われている取組や課題について協議しました。また、村の魅力や頑張っている取組についてブランドプロミスに紐づけて意見交換しました。

ステップアッププログラム 2025 の主な取組

受入環境整備

- 青少年旅行村のさらなる活用
- 道路、ビーチの景観の整備 など

持続可能な利用の実現

- 海の利用のルール作り
- サンゴの保護活動 など

受入体制の充実

- 歴史民俗資料館の安定運営
- 文化協会設立 など

その他

- 特産品の開発・販売 など

コンテンツの磨き上げ、体験メニューの多様化

- 付加価値の高いツアー造成
- ガイドの人材育成
- 漁業体験メニュー充実 など



渡嘉敷ワークショップの様子

ステップアッププログラム2025でかけた目標の取組状況

① 受入環境整備

阿波連区の井戸の整備

- ・文化保存のため井戸周辺の整地、安全対策などの整備を実施

※ 今後の課題 | 案内看板の設置

② コンテンツ磨き上げ、体験メニューの多様化

青少年交流の家の有効活用の検討

- ・観光協会の離島体験事業へ協働
- ・赤間山の歴史散策をテーマにプログラム実施

※ 今後の課題 | 開発した体験プログラムに利用者が申し込める仕組みづくり

③ 持続可能な利用の実現

サンゴなど保全活動の実施

海のルール整備

- ・オニヒトデ・レイシガイの調査駆除やポイント係留ブイの補修、点滅灯の回収を秋～冬を中心に海中清掃を実施

- ・遊漁者の利用ルール作成、密漁者対策での巡視の実施、ルール修正などのアンケート調査の実施

※ 今後の課題 | 海の巡視活動への予算確保、保全活動への実施体制確保、各関係者と協力など

ブランドプロミスに関係した取り組みと今後やってみたい取組

国立公園が掲げるブランドプロミス(国立公園が来訪者・地域に約束すること)の4つの軸についてご意見をいただきました。

感動的な自然風景

- 夏のバタなぎの水面
- 慶良間の島々
- 岩の隙間からの陽ざし
- クジラなど
- 渡嘉敷村のコーンシジなどの奇岩
- 陸域でも素晴らしい景観がみられる

これまでも案内しているが、見ることが難しい景色もある。新たな自然資源としてツアーに組み込んでみたいと思うものもある。

自然と人々の物語を知るアクティビティ

- 水田の再生事業
- 砂浜の色や漁業
- 島の自然
- 島の暮らし

渡嘉敷村では、稲作とともに紐づく暮らし、綱引きなどの伝統行事、漁業や昔の暮らしを体験できるプログラム、昔ながらの製法でつくる料理などの地域文化の継承を行っている。今後も活動の幅を広げ、島内外の参加者を増やしていきたい。

サステナビリティへの共感

- サンゴ礁の保全
- ホエールウォッチング
- 無人島ルール

係留ブイ、リーフチェック、サンゴの保全活動を行っている。ホエールウォッチングのルールの作成、慶良間諸島でのホエールスイムの禁止により、クジラに優しいホエールウォッチングが体験できる。今後も継続したい。

感動体験を支える施設とサービス

- 島の自然を満喫するための取組

各ビーチの環境整備(海浜清掃など)、展望台などの施設の適正な維持管理(通景伐採や施設の補修など)を行っている。